

単元名	1章 心の健康			教科書のページ	p.4～19
配当時数	3 時間	活動時期	12月 1月	学習指導要領の内容	第5学年及び第6学年 G 保健 (1)

章の目標		心の健康に関する課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える活動を通して、感情、社会性、思考力など、さまざまな働きの総体として捉えることができる心が、さまざまな生活経験を通して年齢に伴って発達すること、心と体は深く影響し合っていること、不安や悩みは誰もが経験すること、それらへの対処にはいろいろな方法があることを理解できるようにする。また、不安や悩みを緩和するための対処の方法を行うことができるようにする。			
章の 観点別 評価規準	知識・技能	心の発達および不安や悩みへの対処について理解しているとともに、簡単な対処についての技能を身につけている。 ・心は、いろいろな生活経験を通して、年齢に伴って発達することを理解している。 ・心と体には、密接な関係があることを理解している。 ・不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることを理解しているとともに、不安や悩みへの簡単な対処についての技能を身につけている。			
	思考・判断・表現	心の健康について、課題を見つけ、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。			
	主体的に学習に取り組む態度	心の健康の大切さに気づき、心をよりよく発達させたり不安や悩みに対処する方法を考えたりする学習に進んで取り組もうとしている。			

単元名	2章 けがの防止			教科書のページ	p.20～47
配当時数	5 時間	活動時期	7月～9月	学習指導要領の内容	第5学年及び第6学年 G 保健 (2)

章の目標		けがの防止に関する課題を見つけ、よりよい解決に向けて考える活動を通して、けがの発生要因や防止の方法、けがの悪化を防ぐための簡単な手当の方法などを理解できるようにする。また、けがなどの簡単な手当を行うことができるようにする。			
章の 観点別 評価規準	知識・技能	けがの防止について理解しているとともに、けがなどの簡単な手当についての技能を身につけている。 ・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であることを理解している。 ・けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があることを理解しているとともに、技能を身につけている。			
	思考・判断・表現	けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考えているとともに、それらを表現している。			
	主体的に学習に取り組む態度	けがの防止の大切さに気づき、けがの防止についての学習に進んで取り組もうとしている。			